

安来市姉妹都市国際交流推進協議会では、市内の中学生を海外に派遣しています。次代を担う青少年の人材育成を目的に、国際感覚を持った人になってほしいという考えから取り組んでいるものです。

今年の事業では、3泊4日の日程で中学生を韓国に派遣しました。参加したのは二・三年生の男女8人。8月2日に米子空港からソウルに向かいました。

翌日には、安来市の姉妹都市である「密陽市」を訪ね。密陽市議会への表敬訪問のほか、現地の中学生との交流会にも参加しました。

このほか滞在中には、市立博物館での木版画刷り、商業施設での買い物、特産品である青唐辛子を食するなど、さまざまな体験をしました。

2020年には東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。今後、訪日外国人が増えます。増加する見込みです。市では、引き続き新しい時代に対応できる人材育成に努めていきます。

安来市青少年海外研修事業

韓国を訪れた 8人の若い感性が 異文化に触れました

8月2日から3泊4日の日程で市内の中学生8人が姉妹都市の密陽市などを訪れました。皆さんの感想を紹介します。



現地では地元の中学生たちと交流し、楽しいひとときを過ごすことができました。



第一中学校3年
遠藤亜香音さん

買い物の時、ピッタリお金を出すことができず「一番大きいお金を出せば良い」と思ってしまいダメだなあと思いました。



第一中学校3年
加納香佳さん

鉄の食器を使うため、熱いご飯を入れると熱が伝わり、食べにくいと思いました。食器を持って食べる習慣がないことが分かり違いを発見できました。



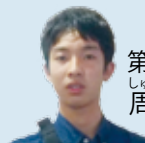
第一中学校3年
伊達山くるみさん

最初は国も言葉も違うため不安でしたが、最後にはまだ帰りたくないと思いました。「はじめまして」で人と人はつながることができるんだなあと感じました。



第一中学校3年
角森紘海さん

密陽市議会では、ファン・イング議長に質問する勇気がなかったことを後悔しています。議場では、議長席に座らせてもらい貴重な体験ができました。



第三中学校3年
周藤颯志さん

日本ほど発展していないと勝手なイメージを持っていましたが、東京のように高層ビルが建ち並び道路も片側四車線等、安来市よりも発展していました。



第一中学校3年
増田日向子さん

言葉が通じなくても、何事も積極的に行けば、何かを発見できるということを学びました。進学を前に自分の将来について真剣に考えるきっかけになりました。



第一中学校2年
木戸春霞さん

韓国では、今でも儒教を重んじているため、一つ上の先輩でも、気軽に話せないことを聞きました。実際の儒教は思ったよりも厳しいなあと感じました。



第一中学校3年
鶴原莉々さん

国外へ実際に行くことで分かる他国との違いを発見し、より外国への興味が湧きました。また文化の違いに触れ、新鮮な気持ちになりました。

